

【ポイント】

- ①評価期間を10月1日（前年度後期）～9月30日（当該年度前期）とすることで、各会員校の繁忙期を避けた評価作業が可能となる。
- ②評価業務を12月末までに実施しフィードバックを行うことで、次年度事業計画（1月末までに策定）への反映がしやすく、PDCAサイクルの実質化に繋がりやすい。
- ③評価期間を他の年度（事業計画、会計年度、代表校等期間）と違えることで、先を見据えた代表校等の交代・引継ぎが可能となる。